

一般質問 第2回定例会

区政をただす

新区長のリーダーシップと

住民参加のあり方を問う

自由民主党議員団 市川 みのる

区長は、さまざまな議論について、住民参加を得た上で決断を下す、と述べられているが、どのようなスケールで住民参加を推進するつもりなのか。スケールが決まらないまま議論をしたのでは、住民参加の機能が働かず、区民に過大な期待を持たせ、従来のようなあやふやな参加になっ



警察大学校等移転跡地

てしまつ心配がある。区長が考える住民参加のスケールと、リーダーシップのすみ分けはどのようなものか。

区長は、さまざまな区民の意見を聞いた上で、最善・最適なことを示す。区長は所信表明の中で、「区民の信託にこたえないため、区議会との密接な連携のもと、区政運営に全力を傾注したい。議員、区民の理解と協力をお願いいたします。」と述べられた。区民の信託にこたえ、区政運営に全力を傾注することは、区長の当然の責務であり理解を求められ

平和事業に

「平和の万葉集」を

公明党議員団 岡本 いさお

が行おうとする行政の運営に関し、常に議会と情報発信・情報交換しながら、同じ判断の基盤に立ち、良好なコミュニケーションを保つことが必要である。その面での理解と協力を求めるものである。警察大学校跡地利用計画案はどう見直すのか

転換計画案は、区民参加で見直すとしているが、この計画は、中野区の単独計画ではなく、都や杉並区とも時間をかけて検討を行い、合意策定してきたものだ。既に都市計画決定に向け、道路の予算も議決している中、限られた時間で進められている作業である。一定の議論を経た上で、どのように区民に説明し、どの段階で区長の決断を行うのか。

中野区平和条例制定10周年記念として、区民などと協働で平和に関する事業を行うべきだ。中野独自の平和の想いをこめて、「平和の万葉集」をつくってはどうか。平和の森公園にホタルを放し、ホタルが飛び交う平和の里として、水辺の公園にしては。

区長 今年度の事業は、区民の平和への願いをこめたい。絵をはじめ、詩や俳句、メッセージなどの作品募集、各地域での平和のパネル展などを順次実施予定であり、その中で提案の趣旨も工夫したい。作品募集にあたっては、ホームページを活用し、内外に呼

要性、財政状況などを考え、結論を出していきたい。地域のかかわりは認識しており、廃止の際は、説明責任を果たしたい。

IT推進の体制整備を

ITや電子区役所の推進には、中野区は分りにくい組織になっている。一貫して推進する組織をつくるべきで、住民基本台帳ネットワークに対する区の考えは、

に見直し、総合的かつ効率的な体制の整備と組織強化をしていきたい。現時点では、個人情報保護法の成立の見通しが立たない状況から、国などの動きを慎重に見定めていきたい。

区長 行財政5か年計画は、当面の歳出削減策を中心に策定した計画であり、将来への展望が不足している。そのため、改めて区民参加で基本構想と10か年の行財政計画を策定したい。

保育を否定するものではない。保育の質を保つのは区の責任であり必要な方策をとる。有事法制三法案に反対の意思表示を、有事法制三法案は憲法を真つ向から否定し、国民の戦時体制をつくるものだ。憲法擁護・平和と安全を守る立場から、区長として反対の意思を明確にしてはどうか。



平和の森公園

民活動の支援のため地域センター部管としているが、今後検討したい。責任者はこれまで女性だったが、今後は男女にこだわらず配置していく。

憲法を基軸とする

基本構想の根本を生かせ

日本共産党議員団 江田 徹

基本構想を実現性や計画性を重視した形に改定すると述べているが、基本構想は、憲法の精神を基軸としている。この中野区政の根本を変えるのか。

区長 新しい基本構想では、理念だけでなく現実に対応できる目標を示すべきであり、従って、財政的裏付けを

区長 新たな計画など策定時期となる。事業や施設の見直し職員削減につながるかと考える。施設の必

新たに策定する計画は、区民生活優先に転換を。行財政5か年計画に代わる本格的な区政の将来構想と計画をつくるとしているが、区民生活優先の計画に転換すべきではないか。



江古田の森整備予定地

区長 議会と情報共有を図り、十分に議論するため、調査結果は提供していく。

民間人を登用し

お役所仕事からの脱却を

市民自治フォーラム 木村 勝昭

地方分権が推進される中で、ス産業」と言われ、お役所仕事からの脱却が大きな課題と